

日付	令和5年11月21日
担当所属	山梨県立笛吹高等学校
担当者名	教頭 坂本 篤
連絡先	055-262-2135 (内線 200)

笛吹高校 植物研究部
笛吹市芦川町ニホンスズラン群生地保護育成事業に参加

1 経緯と目的 令和5年11月中旬に笛吹市芦川町観光協会(笛吹市役所芦川支所所管)より、標記の事業への参加依頼を受けた。この事業は数年前から取り組まれており、現地のスズラン群落の保護・育成を目的とするものである。具体的には、同協会関係者が町内で育成したニホンスズラン苗を、群落の衰退の見られる箇所などに植え戻し、群落の修復・育成を図ることを目指す。

当部は2019年度以降今日まで当群生地の保全に関する調査研究を進め、その成果を冊子刊行・配布、研究発表会等を通して地域社会に還元してきた。上記事業は当部の調査研究成果を踏まえ活用しようとするものであることが依頼文には記されている。

そこで、当部ではこれまでの調査研究成果を、実際の保全活動に生かすことを目的として、当事業に参加することとした。

2 日時 令和5年11月27日(月)午前10:00(スズラン群生地駐車場集合)

3 参加生徒 植物研究部 竹山 夕星(3年, 部長)他3名。

4 内容 芦川スズラン群生地にて、群落の衰退傾向の見られる箇所等に、観光協会が町内で育成したスズラン苗1,000鉢を植え戻し、群落の修復・育成を図るとともに、群落の健全な生育のための環境改善(微地形の改修等)を行う。

当部員生徒は、笛吹市役所芦川支所・同市芦川町観光協会関係者とともに、ニホンスズランの苗を群落衰退部分の林床に植栽する。環境改善の際に掘り採った同種の地下茎も適当な場所に植え戻す。

なお、植栽する苗について付け加えると、これらは群生地に生育する個体の一部から栄養繁殖(株分け、挿し木)にて増殖したものであり、保全遺伝学的な観点からも適切な手法である。



← 中央付近の窪地地形を改善し、林床を整備した後、スズラン苗を植え戻す(写真=令和5年11月17日撮影)。

5 取材希望日時 令和5年11月27日(月)午前10時、群生地駐車場に集合後、活動を開始します(雨天順延)。教頭か下記担当者にお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

担当 植物研究部顧問 教諭 亀井 忠文